

澗沼の豊かな自然から 地域の未来を考える

2017年2月4日(土曜日) 13時30分～
於：いこいの村澗沼

趣旨

澗沼のラムサール条約登録1周年を記念して、地域で一体となって澗沼の豊かな自然を将来にわたって保全するとともに、賢明な利用の推進を図るためのイベントを開催します。

澗沼の貴重な財産であるヒヌマイトトンボの講演や既にラムサール条約登録された地域のワイズユースに向けた取り組みをお聞きしながら、澗沼の未来を一緒に考えていきましょう。

プログラム

◆ 挨拶

13:30～13:35

◆ 基調講演

13:35～14:35

「ヒヌマイトトンボ発見から45年」

講師 小菅 次男 氏 (茨城県自然環境保全審議会 会長)



◆ 休憩

14:35～14:45

◆ パネルディスカッション

14:45～15:45

「生物多様性を活かした地域振興の取り組みと課題」

パネリスト (渡良瀬遊水地) 小栗 幸雄 氏 (国土交通省利根川上流河川事務所 副所長)

荒川 明 氏 (栃木市遊水地課 課長)

(谷津干潟) 芝原 達也 氏 (習志野市谷津干潟自然観察センター 副所長)

(澗沼) 田口 眞一 氏 (茨城町企画政策課ラムサール推進室 室長)

コーディネーター 山根 爽一 (茨城県生物多様性センター センター長)

※渡良瀬遊水地(栃木県・群馬県・埼玉県・茨城県)や谷津干潟(千葉県)など既にラムサール条約登録湿地となり、ワイズユースに向けた活動を実施している地域の取り組みなどをお聞きしながら、これからの澗沼について考えていきます。